

第2回 信州佐久がん哲学外来研修会 & 交流会 開催報告(2010年5月30日)

故若月俊一先生生誕100年を記念して
～ 広々としたメディカルタウンをめざして～
人と人との支え合い、心と心のふれあいを～

第2回目を迎え、たくさんのボランティアの皆さんや地域の皆様のご協力により、無事に開催をすることができました。「命」をテーマに様々な分野の方々が、集まり、ふれあい、学び合い、「互いが互いのために在ることを」を再確認し、また明日に向かって前向きに生きていく力になれたらと思います。

本イベント開催のためにご尽力いただきました皆様に改めて心から御礼申し上げます。

NPO法人がん哲学外来・健康工房SAKU

第1部 「さわやかな新緑の朝、熱気球体験」

佐久教育委員会のご協力により心障学級の子どもたちにもご案内をしました。

搭乗者数55名、見学者やボランティアを含めて総勢100名程が参加しました。



佐久熱気球クラブは「子供たちに感動を！」テーマにボランティア活動をしています。



決してひとりでは上げることができない、仲間、チームワークが大切なんです。



佐久の大空に舞い上がりました！



第2部「歌おう！動こう！？ふれあいコンサート」 名作ミュージカル「サウンドオブミュージック」の歌にのせて

来た方がみんなで参加する舞台、ボランティアも会場の皆さんも一つになる楽しいひと時でした。



ドレミの歌の動きは、理学療法士の中村崇先生につかっていただき、みんなで楽しみました。



すべての山に登れ！では、「病や困難な時にも虹の向こうにある光を見つけて、この手につかみましょう！」と修道院長の語りかけで大合唱になりました。



千葉から通ってステキな演奏と指導をされたピアニストの庄子和佳子さん。



始めはほとんど知らない者同士の集まりでしたが、最後は本当の家族のようになりました！

第3部「がん哲学外来」講演会とシンポジウム

・若月先生の人と心を語る～故若月俊一先生生誕100年によせて～



総勢130名が参加しました。



佐久総合病院 松島松翠先生の基調講演

松島先生の基調講演において、「医療の民主化は地域の民主化なくしては実現できない。先人の志を承継し、地域に住む私たちに何が出来るか、何をすべきか」と宿題をいただきました。



横山孝子先生は手作りカルタをご披露。高齢者の社会参加の大切さと実践の呼びかけ、励ましをいただきました。



北澤彰浩医師、「医療とは」その定義を問う、とても深いお話を伺いました。佐久地域医療の取組みに改めて一同が感心しました、地元にいながらも知らないことを感じ、県外の方たちからは、「佐久に住みたい！」と言われる一幕もありました。



依田さんの佐久地域が古代からどのような地域であったか、人々はどうか等地形を含めてのお話も興味深かったです。



会場からは、1人1人が命や健康を考え地域が支え合うことの大切さを再認識したと喜びの発言がありました。



若月先生の学生時代の恩師との感動的なお話を、力強く一人ひとりの心に訴えるように語る川田先生。若月先生をいきいきと感ずることができました。



本講演とシンポの最後に樋野先生から感想として「人、ひとりがいやされるためにはひとつの町が必要です。まさにメディカルタウンですね。」と「佐久メディカルタウン」がモデル的存在となって広がっていくことに期待をよせられました。